

2018年8月9日(木)に開催した、決算説明会において、出席者の皆さまから頂いた質問をまとめたものです。GMO インターネット代表取締役会長兼社長・グループ代表の熊谷、同 CFO 安田より回答させていただきました。

● 仮想通貨マイニング事業について

【Q1】 自社マイニング、クラウドマイニング、外部販売の優先順位を変えたとのことだが、これまでは割り当てるリソースをどのように考えていたのか。

【A1】 当初、3,000PH/sの目標を自社マイニングとクラウドマイニング（内訳は非開示）と想定し、残ったハッシュパワー分を外部販売に割り当てる予定でした。現在は、外部販売が9割のイメージで、売れ残る分があれば、自社マイニングとクラウドマイニングに回すイメージです。

【Q2】 当初の想定と比べて相当多くの割合を外部販売に充てるということか？

【A2】 外部販売を始めてから分かったことは、想定以上に購入のニーズがあり、早期に収益を上げられる可能性があるということです。基本は自社でマイニングをしたほうが中期的にはリターンがあるが、投資回収に時間もかかります。そして、ニーズがあるということは、中期的に収益が上がると思っている方が世界中にたくさんいらっしゃるということです。外部販売のほうが投資回収が早いため、このような意思決定を現段階ではしています。

【Q3】 外部環境が厳しくなるなかで、本当にマシンの販売がうまくいくのか

【A3】 実際は蓋をあけてみないと分からないが、想定以上の仮発注を頂いています。特に大口の方は万の単位で購入を希望されるものの、納品時に入金したいというお声もある。世界80カ国の1,000件レベルのマイナーさんからの問い合わせをいただいています。世界では、我々と同じビジネスモデルのBitmainさんは上場予定、Canaanさんも上場されていて、レポートも出ており、収益機会があると捉えています。また、もし売れ残ってしまった場合には自社マイニングで利用したいと考えています。

GMO INTERNET

【Q4】 4Qからマシンの販売が可能とのことだが2Qは赤字。黒字転換ができる見込みの時期はを教えてください。

【A4】 4Qのマシン納品時から一気に計上される予定です。

(黒字転換の時期について、その場での回答がなかったため、IRチームより回答いたします。現在の自社マイニングの状況も、外部環境によってポジティブにもネガティブにも振れるため、必ずしも3Qまでの赤字が確定しているものではありません。当社の月次開示など適切な方法にて引き続き情報を開示してまいります。)

●金融事業について

【Q5】 GMOコイン社が取引所の開設を予定しているとのことだが、その背景について教えてください

【A5】 仮想通貨の分野はたくさんの事業者さんが参入され、なかなか金融庁様のお許しを頂けなかったり、様々な業界団体が議論を進めている状況を把握しています。8月に取引所としての許可をいただき、リリースできる状況になったと現場から報告を受けています。今後に期待しています。

以上